

7月 令和5年7月1日

ちびっこの森通信 vol.212

☆☆今月のテーマ☆☆

- ・外遊びでしっかり汗をかいたり、積極的に夏遊びをする
- ・七夕に興味をもち、飾りつけなどを楽しむ

～今月の園内学習～

- ・足し算…7の段
- ・掛け算…7の段
- ・数字カード…1～20の数字
- ・食べ物カード…7月の旬な食べ物
- ・漢字カード…小学校1学年で習う漢字30
- ・歴史カード…「井伊直弼」ほか
- ・ひらがなカード…「は行」
- ・国旗カード…コンゴほか
- ・アフリカの国々
- ・地理カード…愛知県ほか中部地方
- ・声に出して読みたい日本語…論語

- ・魚への漢字…「くじら」「さめ」
- ・木への漢字…「かし」「まゆみ」

～行事予定～

- ・プール開き…1日
- ・七夕会…6日 / 7日
- ・お誕生日会…27日
- ・身体測定…25日
- ・川ミツク…4日(年中・年長)
31日(年少)
- ・体操教室…18日(年中・年長)
20日(年少)
- ・英語教室…25日
- ・書道教室…13日 / 27日(年長)
- ・避難訓練…19日

6月の唄～♪

- ◇たなばたさま
- ◆どんないろがすき
- ◇イルカはザンブラコ

～保育のポイント～

赤ん坊は親の都合など少しも構わず、お腹がすいたというのは泣き、大便をしたというのは泣いています。つまり、こどもは本来、極めて自己中心的でわがままな存在です。しかし、赤ん坊も、自分の要求が必ずしも通るとは限らないという体験を繰り返しながら育っていく内に、次第に社会性が発達し、自分のわがままを抑えていくようになります。昔も今もわがままな子はいますが、昔の「わがまま」には、何ん自由なく育った世間知らずという響きがあり、それをこどもの世界でも「是」とすることはなかったように考えられます。しかし、「少子化」と言われる昨今は、こどもに親がかける時間が当然、多くなり、「わが子可愛さ」の余りにこどもの要求は何でも通してしまいがちで、わがままは助長される傾向にあり、結果としてわがままな子が育ちやすい家庭環境と言えるかもしれません。そこで、この傾向を直すには、これまでの親子関係を根本的に洗い直しと同時に、こどもに自分のわがままを客観的に認識させることも大事と言えます。それには、心理療法でよく行われている「ロールプレイング」(役割演技)という手法を取り入れてみるのがいいかもしれません。「ロールプレイング」とは、ある役割を演じさせることによって、自分自身を見つめ直すことを目的としたもので、いじめっ子などの問題児が、いじめられっ子の役割を演じるだけで、その粗暴な性質が改められていったという例は数多くあると聞きます。この「ロールプレイング」を生かすのであれば、年下のこどもの世話をさせるというのが、もっとも手軽な方法であり、自分より年下の子の世話をすると、自分のわがままが通らないことをまず発見するはずで、世話をするという行為は、否が応でも、相手の要求に応じなければならない面があるからです。また、相手のわがままな面にもぶつかって、わがままというものが周囲の人にどんな感じを与えるのかも、年下のこどもとの関係から学んでいくでしょう。このようなことが分かってくると、周囲の大人がナイヤイ言わなくても、そのこどものわがままな面は自然と少なくなっていくはずで、

～しつけの知恵(多湖輝著)より抜粋～

さくら組だより

梅雨特有のジメジメとした暑い日続きですが、元気一杯のみんなは早めの外遊びに出掛けています。公園では落ちたザクロの形から「たこウインナー」を連想して大盛り上がりし、ままごと遊びにそのまま活用し、葉っぱのサラダや小石のご飯と見立て遊びのバリエーションも豊富となってきました。お散歩では紫陽花が目を引き、「ここは水色」や「あっちは紫」と観察眼鏡く会話弾んでいます。室内製作では予め塗った数種の色の上を黒色のクレヨンで塗りつぶし、その上から引っ搔くと、「あら～、不思議な色マジック」と楽しんでいました。最近ではマーカーのキャップをきちんとくっつけてお絵描きや糊付けなど一つひとつのお約束が守られるようになってきました。クッキングではフルーツゼリーづくりでカップにみかんやゼリーを入れて、爽やかなおやつをみんなに提供できて満足そうでした。これからは水あそびで水に慣れ、楽しみ、元気に夏を乗り越えていきたいと思ひます。

ひまわり組だより

「暑さも寒さもそんなの関係ねえ～」と元気が売りのひまわり組のみんな。そんなみんなのお気に入りJR沿線で電車見学をすること。「カーブ電車、見れるかな？」など楽しみは色々で、ホームで電車到着を告げる音楽が聴き漏れてくると「来るよ」と万全な臨戦態勢。そして、車窓から気づいた乗客や車掌の方々から温かい対応に「バイバイ～」と満面の笑みと大きく手を振って応えています。また、ポテトサラダづくりのクッキングでは マッシャーで茹でたじゃがが芋を潰したり、予め切り刻んでくれた具材を順次、投入し、混ぜ合わせていきました。それぞれの工程を一人ひとり順番を守りながら取り組み、いいチームワークで仕上げたポテトサラダの味は格別だったようでその日の給食は料理づくりの話で盛り上がり、食もいつも以上に進んでいたのていい体験経験となっていました。これから夏本番で、夏バテしないようによく食べ、よく(水)遊びし、よく寝て、元気に過ごしていきたいと思ひます。

ゆり組だより

園でゆり組だけの特権項目が絵の具、書道や鍵盤ハーモニカ活動となっています。ですから、「明日は鍵盤ハーモカだよ～」と声がかかると、真新しい鍵盤ハーモカのケースを嬉しそうに持参する姿が見られます。一人ひとりの個性を表すかのように色違いなのでそれぞれが「あっ、〇〇色なんだぁ～」とお互いに自慢の品を見せ合っているのが微笑ましいところです。活動がはじまると先生の説明もそぞろに聞き、早く演奏したい気持ちが抑えきれない様子。でも、お約束は守り、ここは大きい音(高音)、そこは小さいの(低音)と発見があり、次回に繋がっていきそうな予感です。絵の具では道具の名称、使い方や片付けなどの細かい約束があつて大変そうでしたが、いざ絵の具のチューブからパレットに出す時は緊張しながらも出し過ぎないように注意している様子が微笑ましい限りでした。今回は赤・青・黄と色の三原色からスタートしました。基本は単色で色塗りをしようとしていたのですが、何かのはずみで色が混じってしまい、「見て、見て、オレンジ色になったよぉ～」と早くも混色の不思議体験が始まり、今後の展開に期待を持つこととなっていました。これからは夏本番を迎えるにあたり、感染症対策をしながら水あそびを楽しんでいきたいと思ひますので宜しお願ひします。

給食室だより

～そうだったのか、フィット・ケミカル!～

日本には四季があり、清々しい春とは好対照な高温多湿で心も身体も痛めつけられる夏の季節へと移り変わるうとしています。人間もそうですが、他の動物や植物は季節の環境に適応しながら生きています。植物はそんな過酷な自然環境に抗い、内部にパワーを秘めて生きています。そのパワーは紫外線や害虫などから身を守るための機能性成分で植物の色、香り、苦味、辛味などを指します。所謂、これが植物の「匂」と言われるもので人間や動物が体内で作りだすことができない「第7の栄養素」と言われる「(ギリシャ語で植物)フィット(英語で化学物質)ケミカル」を指し、これらは野菜や果物を食べることで取り入れることができ健康の維持や増進に繋がっています。夏野菜を色ごとに大きく7つに大別すると(1)赤:リコピン/血流改善(トマト、パプリカ、スイカ)、(2)黄:ルテイン/抗酸化作用(とうもろこし、しそ)、(3)橙:βカロテン/皮膚や粘膜の健康維持(ニンジン、かぼちゃ)、(4)緑:クロロフィル / デトックス効果(ピーマン・オクラ)、(5)紫:アントシアニン/目の健康(茄子、ビーツ)、(6)白:イソフラボン・アンチエイジング効果(枝豆、大豆)、(7)茶:βグルカン/免疫力向上(きのこ類、大麦)となります。これからジメジメ感たっぷりに段々と厳しい暑さの夏が到来すると食欲が次第に落ちて最悪のケースとして夏バテをしてしまわないとは言いきれません。そこで、フィットケミカル(植物性の化学物質)たっぷりの「匂」な夏野菜を効率よく摂取し、身体内部に「匂」パワーを摂り入れて元気に過ごしていけるようにしましょう!